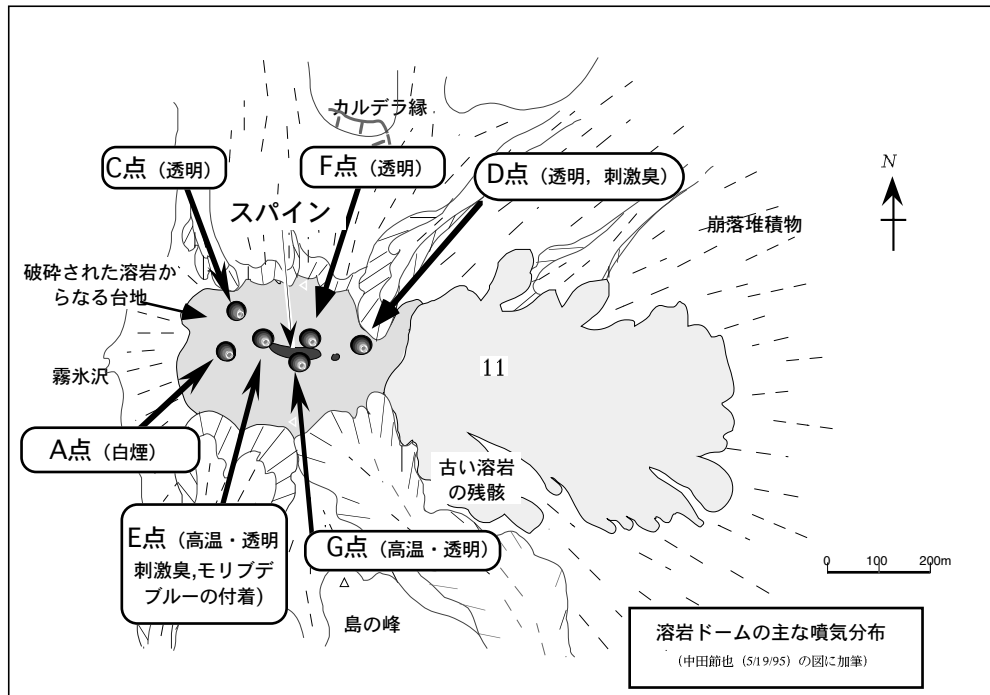
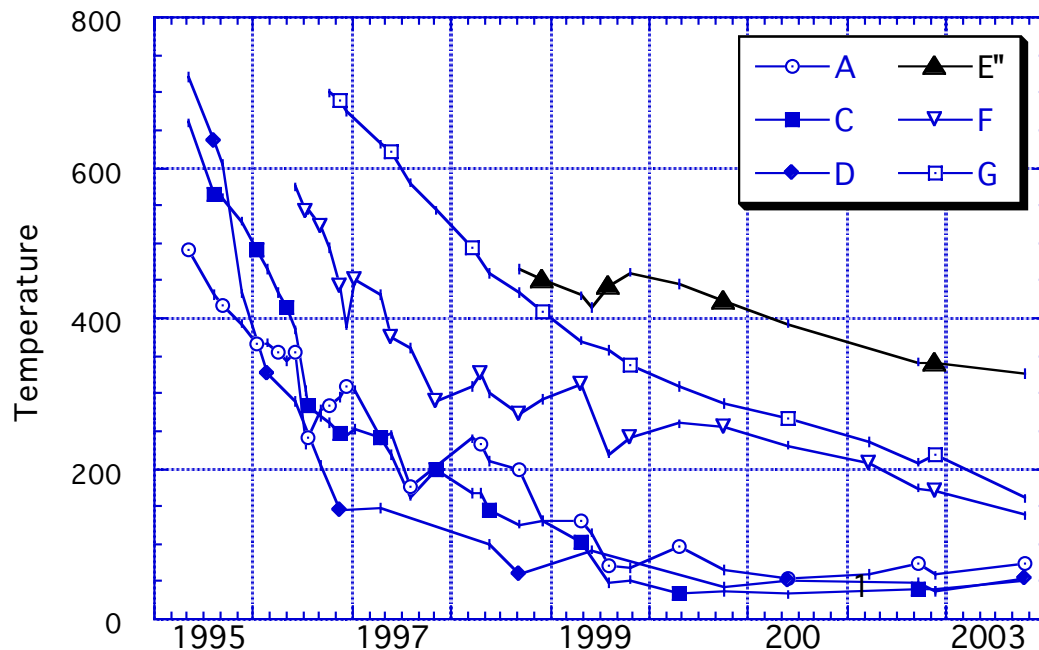


平成新山ドームの噴気ガス温度変化

九州大学地震火山観測研究センター



Temperature of Fumarolic Gas



- 噴気ガスの温度は順調に低下している。青白いガス（主に二酸化硫黄）や刺激臭のガスの量はしだいに減少している。
- 2003年10月17日測定での最高温度はE地点の摂氏326度であった。
- E点は旧地獄跡火口の直上に位置し、現在最も高温で強い刺激臭を伴っている。E噴気孔周囲にはモリブデン酸化物（モリブデンプルー）の付着が少量ながらみられる。
- 平成新山頂上の尖頂（Spine）の崩落が進んでおり、周囲のガス噴気孔は崩落した岩石で塞がれてしまうことが多い。